竹炭物語

竹炭が地球を救う

ー竹炭（ちくたん）物語ー

人間が便利社会を
追い求め続けることによって
たくさんの自然が壊され
水、空気、土が化学物質で汚染され
多くの生き物が絶滅し
地球規模での自然破壊が進んでいる

今、私たちを使えと言わんばかりに
無尽蔵に増え続け
大地を飲み込むように広がる竹たち

竹を竹炭にして、大地に還せば
水も空気も土も綺麗になり
半永久的に大地を再生し
温暖化も止めてくれる

周りを見てみて！
いすみは竹だらけ
地球再生の資源の宝庫
子孫たちによき環境を渡さなくては

竹炭物語は
思い描いた未来に向かって
もう始まっている

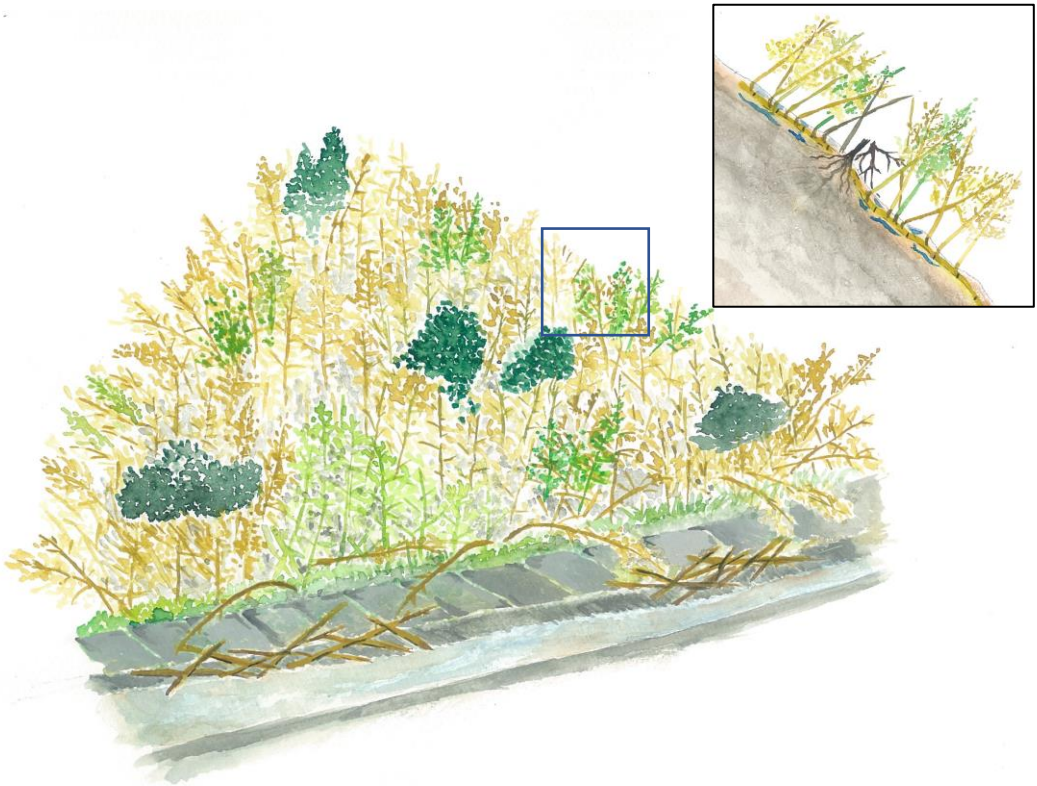
認定NPO法人いすみ竹炭研究会

水脈は大地の要

人間は地形を変えたり、コンクリートで覆ったり、化学物質の力も借りて多くの大地を傷めてしまっている。

人間の手が加えられ衰退した大地は、 水脈と土中の空気の道が閉ざされ、大地の呼吸が止まり、土は水を吸えなくなる。

雨水は大地の表面を流れ、河川の氾濫、土砂災害を引き起こしてしまっている。



竹の増殖は大地の衰退の証

大地が水を吸えなくなると、浅い層に水が溜まり、深く根を張る木々は枯れていく。

そこに生きていける植物は浅く根を張る竹。

タケノコは、１秒間に約９万個もの新しい細胞を作りながら、約３ヶ月で最大身長（15～25メートル）の竹に成長し、驚異的な繁殖力であっという間に山や里を覆っていく。

草木が枯れていく暗闇の竹やぶ

放置されて拡大し続ける竹林は、太陽の光が地面に届かず、草木が枯れて、暗闇の竹やぶとなる。

竹から人間への大切なメッセージ

海岸も、川から流れてきた竹で埋め尽くされている。

大地衰退の現実を、竹は人間に伝えている！

SOS!!

竹やぶを草木が育つ竹林へ

優しい陽の光が射し、気持ちの良い風が流れるように竹を間引きすると、実生の木々や草が成長を始める。

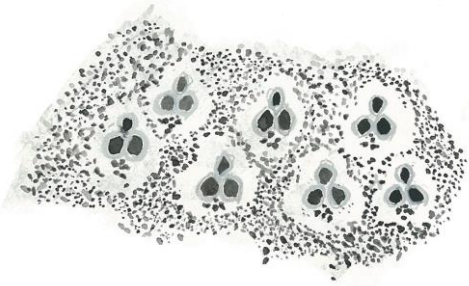
竹が大地再生の資源に変身

切りだした竹を焼いて、全てが炭になったら十分な水で消火し、**竹炭（細かくて柔らかい炭）**という大地を再生する資源に変える。

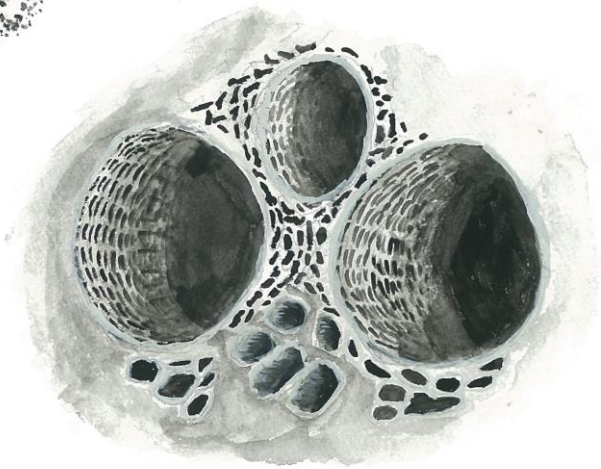
竹の種類も切る時期も問わず、切りだした竹全てを炭にすることが出来る。

窯で焼く硬い竹炭とは異なり、
細かくて柔らかい竹炭。

竹炭の構造



約50倍

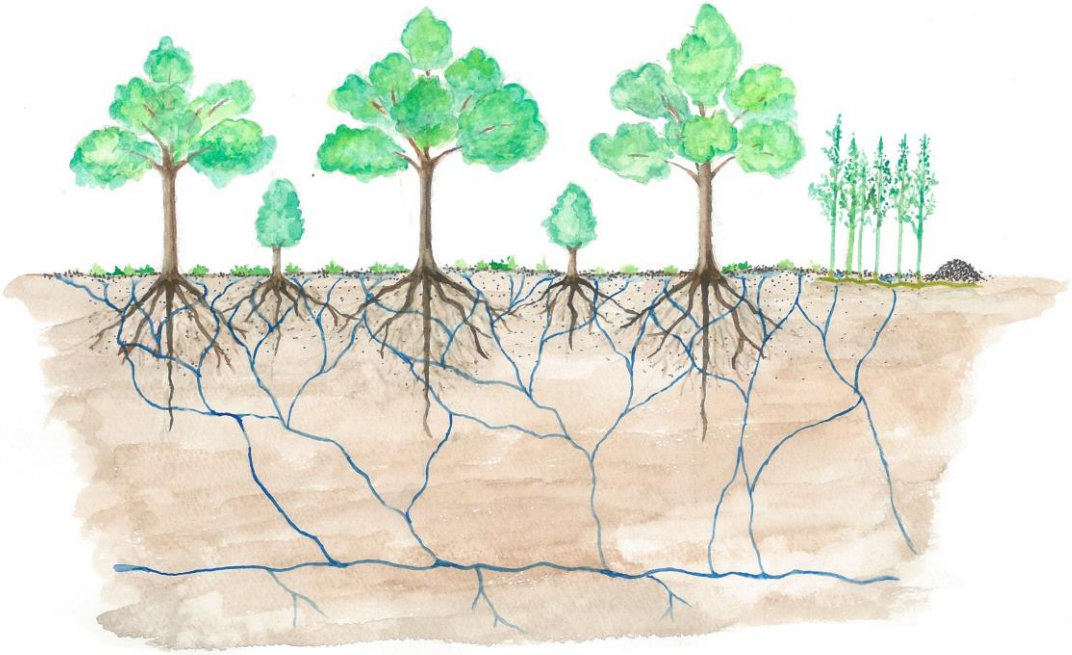


約700倍

竹炭は微生物の住みか

竹炭は、蜂の巣状の大小様々な無数の穴があり、多くの微生物の住みかとなる。

微生物の働きによって菌糸が無限に増殖し土中の有機物の分解を促し土をフワフワにする。



竹炭は大地の救世主

竹炭を大地に還すと、大地は再生を始め、土中に空気の道が生まれ水脈も戻り、深い層まで水が届く。

水を吸えるようになった木々は元気を取り戻し大地に深く強く根を張り、土砂災害を防いでくれる。浅く根を張る竹の勢いは徐々に和らぐ。

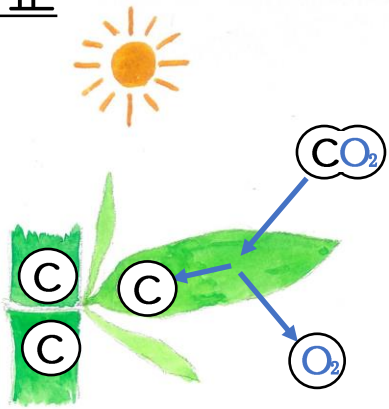
土中深く浸透した水は、多くのミネラルを含みながら大地や農地を潤し、川から海へ流れて豊かな循環を育む。

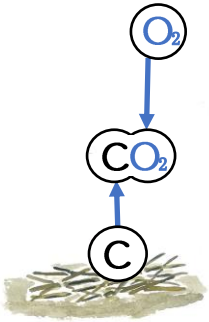
そして、竹炭は半永久的に分解されずに大地を再生し続ける。

竹炭のもう一つの大きな役割

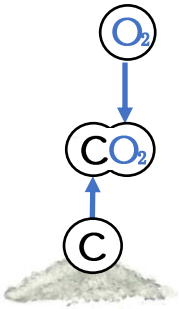
地球温暖化防止

植物の光合成とは．．．
二酸化炭素（CO_2）を吸って炭素（C）を体内に貯めて酸素（O_2）を排出する。





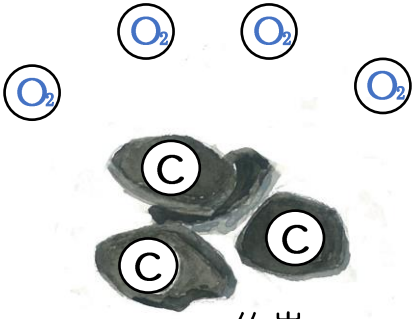
土



灰

竹は朽ちて土になったり焼いて灰にしてしまうと貯めていた炭素（C）は　酸素（O_2）と結びついて二酸化炭素（CO_2）として空気中に排出されてしまう。

しかし、竹炭にすることで、半永久的に炭素（C）が固定されその分の酸素（O_2）が空気中に残る。竹炭を作れば作るほど二酸化炭素（CO_2）の排出を防ぎ、地球温暖化を防止できる。



竹炭

地球を救おう

認定NPO法人いすみ竹炭研究会は、荒れた竹林を整備し、竹炭を作り続けます。

一人でも多くの人たちが竹炭を大地に還してくれることで、豊かな自然環境を次世代に渡せるのです。

土に関わる業種（農業、造園業、土木業、建設業）の方々には特にお願いしたいです。

例えば、竹炭を使って農作物を作ること、その農作物を選ぶことも、地球を救うことに繋がっていくのです。

この絵本は、自然環境改善を真摯に願う全国の方々から私たちに託された応援金によって作られております。

応援金をくださる人も、竹林整備や竹炭を作る人も皆地球を救う仲間です。

応援金の振込先口座

ゆうちょ銀行　店名　〇五八（ゼロゴハチ）
店番　０５８
口座番号　普通　７７２１８３５
口座名義　ﾄｸﾋ）イスミチクタンケンキュウカイ

千葉銀行　支店名　長者支店
口座番号　普通　３２７７２０１
口座名義　ﾄｸﾋ）イスミチクタンケンキュウカイ

認定NPO法人　いすみ竹炭研究会　理事長　西澤 真実

Mail : isumi.tikutan@gmail.com
URL : https://www.isumitikutan.org/
Facebook : https://www.facebook.com/isumitikutan
TEL : 090-9012-8270

“皆様、竹炭を大地に還して下さい”　ー地球よりー